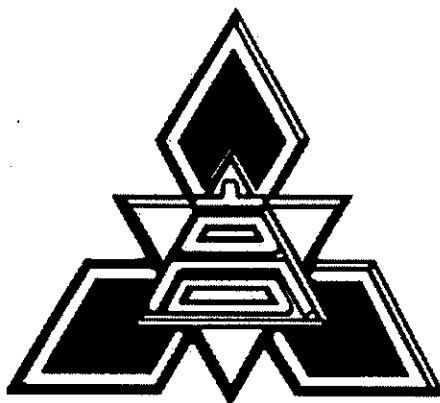


年間授業計画表

令和8年度 3年 普通科



SHINMINATO HIGH SCHOOL

富山県立新湊高等学校

3年普通科 年間授業計画表目次

ページ	教科名	科目名	単位数	コース	必修・選択の別
1	国語	論理国語	2	全	必修
2	国語	古典探究	2	英語系・文系	必修
3	国語	古典探究	2	理系	必修
4	国語	国語研究	2	英語系・文系	必修
5	地理歴史	地理探究	3	英語系・文系	選択
6	地理歴史	地理探究	4	理系	選択
7	地理歴史	日本史探究	3	英語系・文系	選択
8	地理歴史	世界史探究	3	英語系・文系	選択
9	公民	倫理	2	英語系・文系	選択
10	公民	政治・経済	2	英語系・文系	選択
11	公民	政治・経済	2	理系	選択
12	公民	公民探究	2	理系	選択
13	数学	数学Ⅲ	3	理系	選択
14	数学	数学C	1	理系	選択
15	数学	数学理解 α	3	英語系・文系	必修
16	数学	数学理解 β	2	英語系・文系	選択
17	数学	数学探究 α	3	理系	必修
18	数学	数学探究 β	3	理系	選択
19	理科	物理	5	理系	選択
20	理科	化学	3	理系	必修
21	理科	生物	5	理系	選択
22	理科	理科演習	4	英語系・文系	必修
23	保健体育	体育	2	全	必修
24	保健体育	生涯スポーツ	1	英語系・文系	選択
25	芸術	音楽表現	2	英語系・文系	選択
26	芸術	音楽探究	2	英語系・文系	選択
27	芸術	美術表現	2	英語系・文系	選択
28	芸術	美術探究	2	英語系・文系	選択
29	外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	全	必修
30	外国語	論理・表現Ⅲ	2	全	必修
31	家庭	家族と保育・福祉	2	英語系・文系	選択
32	情報	情報探究	1	全	選択
33	英語	上級英語理解	2	文系	必修
34	英語	上級時事英語	2	英語系	必修

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通科	単位	2	教科	国語	科目	論理国語
学習教材	教科書 「論理国語」 大修館書店								
学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる。								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ ・「相手を意識して書く」 ・「記号的メディアと物理的メディア」 ・「対比して論じる」 ・「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 ・「仮説を立てて検証する」 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・「贈り物」についての筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。 ・相手に応じた語彙の難易度を考え、適切な表現を選んで書く。 ・対比的な論じ方や具体例の意図をとらえ、論旨をつかむ。 ・コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。 ・対比を効果的に使い、特徴を明確にして書く。 ・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。 ・仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。 ・主張と根拠の関係を吟味し、必要な情報を集める。 							
2 ・ 3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「人を指す言葉」 ・「共感覚と比喻」 ・「多数決を疑う」 ・「対立した意見をふまえて書く」 ・共通テスト型問題演習 ・記述型問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。 ・横書きの形式や、注、参考文献の示し方を理解する。 ・日常言語を客観的に分析する視点を持つ。 ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・異なる立場の主張について、共通点や相違点をつかむ。 ・多様な意見を踏まえて、自分の意見を書く。 ・マーク式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら正しい解答を選択する。 ・記述式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら設問の要求にあった解答をつくることができる。 							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。 		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検		㊦定期考査 ㊧授業プリント		㊦各種課題提出状況 ㊧話し合い活動への参加状況 ㊨授業プリントの記述内容				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	国語	科目	古典探究
学習教材	教科書 「高等学校 古典探究」 数研出版								
学習目標	(1) 長年にわたって伝えられ、現代においても、なおその価値を保つ古典としての古文と漢文を読むことができる。 (2) 古典に描かれた、現代に共通するものの見方・感じ方・考え方や、古典独特のものの見方・感じ方・考え方を的確に読み取ることができる。 (3) 古典の豊かな世界に触れ、古典に親しむ態度を身につけることができる。								
単元と学習内容									
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 蜻蛉日記 和泉式部日記 十六夜日記 梁上君子、三横 壳鬼、人面桃花 			<ul style="list-style-type: none"> 人間関係、作者の置かれている状況を理解する。 助動詞を的確に訳出し、状況を正しく理解する。 敬語が使われているところでは、敬意の対象を理解する。 和歌の修辞法を理解し、和歌の内容と文章の関係を踏まえ、作者の心情を読み取る。 否定、受身、使役、反語、推測の句法を理解する。 登場人物のとった行動の理由を理解する。 宋定伯がどのような知恵を働かせたかを理解する。 崔護と女の思いを理解する。 					
2・3学期	<ul style="list-style-type: none"> 源氏物語 住吉物語 去来抄、無名抄 正徹物語 史記 共通テスト型問題演習 記述型問題演習 			<ul style="list-style-type: none"> 紫の上の置かれた状況を理解し、紫の上の抱えている苦悩がどのようなものであるかを理解する。 光源氏と紫の上がどのようなやりとりをしているかを理解する。 登場人物が詠んだ歌にこめられている想いを読み取る。 死期が近い紫の上を光源氏がどのような想いで見ているかを理解する。 取りあげられている和歌や俳句について、それぞれがどのように評価しているかを理解する。 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 登場人物を取り巻く状況を理解する。 登場人物がどんなことを考えて行動したのかを理解する。 マーク式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら正しい解答を選択する。 記述式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら設問の要求にあった解答をつくらることができる。 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕			評価のフィードバック				
					1期中	1期末	2期中	2期末・学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解する。 時間の経過による言葉の変化、古典が現代の言葉の成立にもたらした影響について理解する。 			○	○	○	○	
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 			○	○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 内容を考察し、学習課題に沿って話し合いに参加する。 作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。 				○		○	
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊦小テスト ㊦ノート点検			㊦定期考査 ㊦授業プリント			㊦ルーブリックによる相互評価 ㊦各種課題提出状況 ㊦話し合い活動への参加状況 ㊦授業プリントの記述内容		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	2	教科	国語	科目	古典探究
学習教材	教科書 「高等学校 古典探究」 数研出版								
学習目標	(1) 長年にわたって伝えられ、現代においても、なおその価値を保つ古典としての古文と漢文を読むことができる。 (2) 古典に描かれた、現代に共通するものの見方・感じ方・考え方や、古典独特のものの見方・感じ方・考え方を的確に読み取ることができる。 (3) 古典の豊かな世界に触れ、古典に親しむ態度を身につけることができる。								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 蜻蛉日記 和泉式部日記 梁上君子、三横 売鬼 			<ul style="list-style-type: none"> 人間関係、作者の置かれている状況を理解する。 助動詞を的確に訳出し、状況を正しく理解する。 敬語が使われているところでは、敬意の対象を理解する。 和歌の修辞法を理解し、和歌の内容と文章の関係を踏まえ、作者の心情を読み取る。 否定、受身、使役、反語、推測の句法を理解する。 登場人物のとった行動の理由を理解する。 宋定伯がどのような知恵を働かせたかを理解する。 					
2・3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 源氏物語 住吉物語 去来抄、無名抄 史記 共通テスト型問題演習 記述型問題演習 			<ul style="list-style-type: none"> 紫の上の置かれた状況を理解し、紫の上の抱えている苦悩がどのようなものであるかを理解する。 光源氏と紫の上がどのようなやりとりをしているかを理解する。 登場人物が詠んだ歌にこめられている想いを読み取る。 死期が近い紫の上を光源氏がどのような想いで見ているかを理解する。 取りあげられている和歌や俳句について、それぞれがどのように評価しているかを理解する。 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 登場人物を取り巻く状況を理解する。 登場人物がどんなことを考えて行動したのかを理解する。 マーク式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら正しい解答を選択する。 記述式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら設問の要求にあった解答をつくらることができる。 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕			評価のフィードバック				
					1期中	1期末	2期中	2期末・学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解する。 時間の経過による言葉の変化、古典が現代の言葉の成立にもたらした影響について理解する。 			○	○	○	○	
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 			○	○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 内容を考察し、学習課題に沿って話し合いに参加する。 作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。 				○		○	
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊦小テスト ㊦ノート点検			㊦定期考査 ㊦授業プリント			㊦ルブリックによる相互評価 ㊦各種課題提出状況 ㊦話し合い活動への参加状況 ㊦授業プリントの記述内容		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	国語	科目	国語研究
学習教材	教科書 「文学国語」 数研出版								
学習目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「鍋セット」 ・「無用の人」 ・「ナイン」 ・「三月の風」 ・「水仙」 ・「源氏物語」(与謝野晶子、谷崎潤一郎、角田光代 訳) 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かからの贈り物で、大切にしているものを提示して、三分程度のスピーチをする。 ・「私」の「父」を指す「無用の人」という言葉はどのような意味で用いられていると考えられるかを説明する。 ・正太郎くんはどのような人物だと考えられるか、本文の出来事を踏まえて説明する。 ・冒頭の英文と、最後の一文は、作品全体に対してどのような意味を持っているかを話し合う ・三つの現代語訳には、表現上どのような違いがあるか、原文を参照しつつ、比較の観点ごとに分けてまとめる。 							
2 ・ 3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」 ・「ひよこの眼」 ・「クリーム」 ・「舞姫」 ・共通テスト型問題演習 ・記述型問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・本文中から「手」の描写を抜き出し、それぞれの場面での「私」の心情を説明する。 ・「中心がいくつもあって、しかも外周を持たない円」とは、どのようなものかを話し合う。 ・森鷗外『普請中』を読み、『普請中』の渡辺参事官・「女」、『舞姫』の豊太郎・エリス、計四人の人物像を、比較しながらまとめる。 ・マーク式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら正しい解答を選択する。 ・記述式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら設問の要求にあった解答をつくることができる。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる) の規準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨ノート点検 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧授業プリント 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦各種課題提出状況 ⑧話し合い活動への参加状況 ⑨授業プリントの記述内容 						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	3	教科	地理歴史	科目	地理探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新詳地理探究」帝国書院 ・地図帳「新詳高等地図」帝国書院 ・「新編地理資料2024」東京法令出版 ・「サクシード地理2025」啓隆社 								
学習目標	<p>(1) 地形、気候、資源、農工業、交通、観光などに関わる諸事象の規則性や課題解決への取り組みが理解できる。</p> <p>(2) 世界の諸地域の主題図等を踏まえて地域区分する地理的技能を習得できる。</p> <p>(3) 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究することができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・工業 ・第三次産業 ・交通・通信 ・観光 ・貿易と経済圏 			<p>工業はどのように発展し、現在はどうのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察する。</p> <p>第三次産業の現状が理解できる。</p> <p>交通網や通信の発達に関する地域性や地域間格差が理解できる。</p> <p>観光の特徴や利点、課題について理解できる。</p> <p>世界の貿易の地域性や地域間格差の原因が理解できる。</p>					
2・3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・人口問題 ・村落と都市 ・衣食住 ・民族と宗教 ・領土問題 ・中国、韓国、ASEAN、インド、西・中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、EU、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリア・ニュージーランドの地誌 ・将来の国土の在り方 ・持続可能な国土像の探究 			<p>先進国と発展途上国の出生率や高齢化の違いが理解できる。人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> <p>村落と都市の発達の仕方にもみられる規則性などが理解できる。</p> <p>伝統的な衣食住の特徴や画一化の動きについて理解できる。</p> <p>民族や宗教の独自性と民族問題の関わりについて理解できる。</p> <p>諸地域にもみられる地域的特色や地域的課題について理解できる。</p> <p>地域の結びつき、構造や変容などに着目して主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解できる。持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究する。</p>					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組について理解できる。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。 				○	○	○	○
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察できる。 ・地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりできる。 				○	○	○	○
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚を深めようとしている。 					○		○
評価 方法	①		②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧副教材問題集解答 ⑨ノート点検 		<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧授業プリント 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦自作問題等のプレゼンテーション ⑧各種提出状況 ⑨討論への参加状況 			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	4	教科	地理歴史	科目	地理探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新詳地理探究」帝国書院 ・「新詳高等地図」帝国書院 ・「新編地理資料2024」東京法令出版 ・「サクシード地理2026」啓隆社 								
学習目標	<p>(1) 地形、気候、資源、農工業、交通、観光などに関わる諸事象の規則性や課題解決への取り組みが理解できる。</p> <p>(2) 世界の諸地域の主題図等を踏まえて地域区分する地理的技能を習得できる。</p> <p>(3) 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究することができる。</p>								
単元と学習内容									
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・地形 ・気候 ・日本の自然環境 ・地球環境問題 ・農林水産業 ・食料問題 ・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・工業 ・第三次産業 			<p>地形の特徴や成因と人間活動との関係性について理解できる。</p> <p>気候の違いの要因と人間生活に及ぼす影響が理解できる。</p> <p>日本の自然環境の特徴が理解できる。</p> <p>持続可能な社会を作り出す取り組みが理解できる。</p> <p>農林水産業の分布や発達の規則性などが理解できる。</p> <p>飽食や飢餓地域を理解し、その原因についても理解できる。</p> <p>エネルギーの利用や生産、消費の不均衡解消を考察する。</p> <p>現在はどうな工業分野や地域が中心となっているか考察する。</p> <p>第三次産業の現状が理解できる。</p> <p>よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p>					
2・3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信 ・観光 ・貿易と経済圏 ・人口問題 ・村落と都市 ・衣食住 ・民族と宗教 ・領土問題 ・中国、韓国、ASEAN、インド、西・中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、EU、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリア・ニュージーランドの地誌 ・将来の国土の在り方 ・持続可能な国土像の探究 			<p>交通網や通信の発達に関する地域性や地域間格差が理解できる。</p> <p>観光の特徴や利点、課題について理解できる。</p> <p>世界の貿易の地域性や地域間格差の原因が理解できる。</p> <p>先進国と発展途上国の出生率や高齢化の違いが理解できる。</p> <p>村落と都市の発達の仕方にもみられる規則性などが理解できる。</p> <p>人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する</p> <p>伝統的な衣食住の特徴や画一化の動きについて理解できる。</p> <p>民族や宗教の独自性と民族問題の関わりについて理解できる。</p> <p>どのような領土問題があるか理解できる。</p> <p>諸地域にみられる地域的特色や地域的課題について理解できる。</p> <p>地域の結びつき、構造や変容などに着目して主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解できる。</p>					
評価									
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準]				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組について理解できる。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。 				○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察できる。 ・地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりできる。 				○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚を深めようとしている。 					○		○
評価方法	①		②		③				
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①副教材問題集解答 ⑦ワーク点検 		<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①授業プリント 		<ul style="list-style-type: none"> ⑦自作問題等のプレゼンテーション ①各種提出状況 ⑦討論への参加状況 				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	3	教科	地理歴史	科目	日本史探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「日本史探究」実教出版 ・「最新日本史図表」第一学習社 ・「日本史探究マイノート」実教出版 ・「日本史重要語句 Check List」啓隆社 								
学習目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から情報を調べまとめることができる。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統や文化の特色などを、多面的・多角的に考察し、課題を把握し解決策を構想し、考察、構想したことを説明したり、それを基に議論したりすることができる。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うことができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	近世の日本と世界 近世の国家・社会の変容 近現代の地域・日本と世界 開国から倒幕へ 明治維新 近代国家の形成			<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の動揺と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・近世文化の成熟と変容 ・明治維新 ・文明開化 ・立憲国家への道 ・議会政治の展開と日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開 					
2・3 学期	近現代の地域・日本と世界 両大戦間の日本 十五年戦争と日本 戦後日本の形成 グローバル化のなかの現代 日本			<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開 ・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争 ・占領と民主改革 ・独立と日米安保体制の形成 ・高度経済成長下の日本 ・「国際化」する経済大国 ・新たな世紀の日本へ 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ・歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 				○	○	○	○
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 				○	○	○	○
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究し、意欲的に解決しようとしている。 					○		○
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊦準拠ノート ㊦小テスト			㊦定期考査 ㊦準拠ノート ㊦授業プリント			㊦ワンペーパーポートフォリオ ㊦ループリックによる評価 ㊦討論・授業への参加状況		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	3	教科	地理歴史	科目	世界史探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「詳説世界史 世界史探究」山川出版社 ・「詳説世界史授業用整理ノート」山川出版社 ・「NEW・STAGE 世界詳覧」浜島書店 ・「詳説世界史 10分間テスト」山川出版社 								
学習目標	<p>(1) 歴史的諸事象を多面的に理解し、資料を適切に調べまとめることができる。</p> <p>(2) 歴史的諸事象を多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明し、議論することができる。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うことができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺	<p>唐以降の東アジアの諸国家の性格とモンゴル帝国の役割を理解する。</p> <p>地球規模の世界の一体化が加速した背景とその進行による諸地域の変化について理解する。</p> <p>近世のアジアの帝国の共通点と特徴を理解する。</p> <p>ルネサンスから始まる近世ヨーロッパの変化を理解する。</p> <p>産業革命と環太平洋革命の展開とお互いの関係を理解する。</p> <p>国民国家と近代市民社会の形成が欧米諸国においてどのように進んだか理解する。</p> <p>ヨーロッパ諸国の進出に対して、各地の政権や人々はどのように対応したのか理解する。</p>							
2・3 学期	帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界	<p>帝国主義とそれが及ぼした諸地域への影響を理解する。</p> <p>第一次世界大戦の世界に及ぼした影響を理解する。</p> <p>第二次世界大戦によつての変化と継続を理解する。</p> <p>冷戦のもとでどのような問題が発生し、国際社会はどのように対応したのか理解する。</p> <p>今日の地球世界の課題を理解する。</p>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代における事実的な知識を習得し、関係図などの概念的理解と結びつけることができる。 ・資料から読み取れることなどを、他者との意見交換をとおして自分の考えに反映できる。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な事象のもつ意味や事象間の関係性について、知識や概念、資料を根拠に説明できる。 ・「因果関係」「視点の転換」「史料の作り手の意図や背景」「比較」などから問いを表現できる。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みに関わる諸課題と我が国の歴史との関連を自分の言葉で説明する。 ・世界の諸地域の歴史を学ぶことを通して、他国の文化を尊重することの大切さを自覚する。 		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	⑦定期考査 ④小テスト ⑧ノート点検		⑦定期考査 ④授業プリント ⑧レポート		⑦討論への参加状況 ④授業プリント ⑧ルブリックによる自己・相互評価				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	公民	科目	倫理
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「詳述 倫理」実教出版 資料集「最新図説 倫理」浜島書店 問題集「2027 実践攻略大学入学共通テスト問題集」実教出版 								
学習目標	<p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から、読み取った情報をまとめることができる。</p> <p>(2) よりよく生きる生き方について考察し、現代の倫理的諸課題を解決するために論理的に思考したり、対話したりすることができる。</p> <p>(3) 他者と共によりよく生きる自己を形成する態度を養い、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めることができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	自己形成と自己の生き方 ギリシア思想 3 大宗教 中国思想 宗教・芸術と人生 人間の尊厳 科学・技術と人間	<p>変わりゆく自己について理解し、将来の生き方について考察する。</p> <p>幸福・愛・徳などに着目してギリシア的な合理主義を理解する。</p> <p>3 大宗教の成り立ちと基本的な思想を理解し、人生における宗教の意義について考察する。</p> <p>孔子と老荘思想が人や社会をどのように捉えていたのか理解する。</p> <p>人生における宗教や芸術の意義について理解する。</p> <p>ルネサンスから始まる人間中心主義の思想を理解する。</p> <p>近代の自然観と経験論と合理論について理解する。</p>							
2 ・ 3 学期	民主社会と自由の実現 近代的人間の見直し 現代の暴力に抗して 日本の仏教思想 近世日本の思想 西洋思想の受容と展開 現代の倫理的諸課題	<p>社会契約論、カント・ヘーゲルの思想、功利主義について理解する。</p> <p>実存主義、無意識の発見、構造主義などの近代的人間の見直しについて理解する</p> <p>暴力とそれを排する思想(公共性、正義、共通善)を理解する。</p> <p>仏教の受容、鎌倉仏教を通して日本仏教の成り立ちを理解する。</p> <p>朱子学、陽明学、古学、国学、幕末の思想といった近代にも通じる独自の人間観や世界観を理解する。</p> <p>明治期の思想、大正期の思想、昭和期の思想について理解する。</p> <p>現代の倫理的諸課題について現状を理解する。</p>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想について概念や理論を理解できる。 資料から読み取れることなどを、他者との意見交換をとおして自分の考えに反映できる。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想を通して現代の社会について考え、多面的に説明することができる。 現代の倫理的諸課題について自分の意見を持ち、論理的に考察することができる。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> 他者と共に生きることについて考察し、自分の言葉で説明する。 先哲の思想を考察することで人間としての在り方生き方について自覚を深める。 		○		○			
評価 方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨ノート点検	⑦定期考査 ⑧授業プリント ⑨レポート ⑩グループワーク	⑦討論への参加状況 ⑧レポート ⑨ルーブリックによる自己・相互評価						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	公民	科目	政治・経済
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「政治・経済」(東京書籍) 資料集「最新図説政治・経済」(浜島書店) 問題集「要点マスター政治・経済 整理と演習」(東京書籍) 								
学習目標	(1) 民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めることができる。 (2) 現代の政治, 経済, 国際関係などについて客観的に理解するとともに, 現実の情勢を主体的に探求する態度を身につけることができる。 (3) 現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 現代政治の日本 			<ul style="list-style-type: none"> 民主政治への道のりと現代の民主政治, 法と民主政治, 基本的人権の確立と国際化, 世界のおもな政治体制について理解する。 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴などについて理解する。 国会の権限や運営, 内閣の機能と国会との関係, 司法権の独立の必要性や裁判のしくみなどについて理解する。 政党政治と利益集団, 選挙の意義としくみ, 選挙をめぐる諸問題, 世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 					
2 ・ 3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の経済 現代日本の諸課題 現代の国際政治 現代の国際経済 国際社会の諸課題 			<ul style="list-style-type: none"> 経済活動の特徴, 資本主義経済の成立と変容, 社会主義経済と新自由主義について理解する。 少子高齢社会などに関する諸課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を, 適切かつ効果的に収集し, 読み取りまとめる。 国際社会の成立と主権国家, 国際社会の秩序維持と国際法, 国際連盟の成立と挫折, 国際連合の役割と課題について理解する。 自由貿易と国際分業, 為替レートの変動, 国際収支のしくみ, 戦後国際経済体制の展開などについて理解する。 多文化共生社会の実現に関する諸課題などの解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を, 適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめる。 					
評価									
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準]				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の政治や経済について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 諸資料から, 課題解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめている。 				○	○	○	○
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 持続可能な財政および租税のあり方などについて, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 				○	○	○	○
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本政治・経済, ならびに国際経済について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 国際社会における政治・経済の諸課題について, 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし, 合意形成や社会参画に向かおうとしている。 					○		○
評価方法	①		②			③			
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検		㊦定期考査 ㊧課題レポート			㊦ワーカーポートフォリオ ㊧ルブリックによる相互評価 ㊨各種提出状況 ㊩討論への参加状況			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理系	単位	2	教科	公民	科目	政治・経済
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 「政治・経済」(東京書籍) 資料集 「最新図説政治・経済」(浜島書店) 問題集 「要点マスター政治・経済 整理と演習」(東京書籍) 								
学習目標	(1) 民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めることができる。 (2) 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探求する態度を身につけることができる。 (3) 現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。								
単元と学習内容									
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 現代政治の日本 現代日本の経済 現代日本の諸課題 現代の国際政治 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴などについて理解する。 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみなどについて理解する。 政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解する。 少子高齢社会などに関する諸課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を、適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる。 国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の役割と課題について理解する。 							
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 現代の国際経済 国際社会の諸課題 	<ul style="list-style-type: none"> 自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開などについて理解する。 多文化共生社会の実現に関する諸課題などの解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を、適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の政治や経済について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 	○	○	○				
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 持続可能な財政および租税のあり方などについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	○	○	○				
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本政治・経済、ならびに国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 国際社会における政治・経済の諸課題について、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 		○					
評価方法	①		②		③				
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検		㊦定期考査 ㊧課題レポート		㊦リポート・ポートフォリオ ㊧グループワークによる相互評価 ㊨各種提出状況 ㊩討論への参加状況				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理系	単位	2	教科	公民	科目	公民探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 「政治・経済」(東京書籍) 資料集 「最新図説政治・経済」(浜島書店) 問題集 「要点マスター政治・経済 整理と演習」(東京書籍) 								
学習目標	<p>(1) 人間としてのあり方生き方、現代社会の諸問題や環境問題など普遍的な問いや国際社会と人類の課題について理解できる。</p> <p>(2) 現代の政治・経済・社会・文化等の諸課題を追求したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、課題解決に向けて、思考したり、対話したりすることができる。</p> <p>(3) 多面的・多角的な考察や理解を通して現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	/								
2・3 学期	現代の諸課題 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題について、政治・経済、倫理の面から多面的・多角的に理解したり対話したりする。 記述型・マーク型の問題を通して人間としてのあり方生き方や現代の諸課題の課題解決にむけて思考する。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の規準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	・人間のあり方生き方や現代の諸課題に関わる知識を理解し、資料から内容を読み取ることができる。	/	/	○	○			
②	思考・判断・ 表現	・課題について二つ以上の側面から思考し、自分の考えを説明することができる。	/	/	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態度	・現代の諸課題と自身との関わりを考察し、主体的に行動することの大切さを自覚することができる。	/	/		○			
評価 方法	①		②		③				
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊧レポート ㊨グループワーク 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦討論への参加状況 ㊧レポート ㊨グループワークによる自己・相互評価 				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	3	教科	数学	科目	数学Ⅲ
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「NEXT 数学Ⅲ」数研出版 ・「CONNECT 数学Ⅲ 完成ノート 新課程」数研出版 ・「チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C 新課程」数研出版 								
学習目標	<p>(1) 微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	第3章 微分法 導関数 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 ・合成関数、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求める。 ・導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求める。 ・いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかく。 							
	第4章 微分法の応用 導関数の応用 いろいろな応用	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求める。 ・置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求める。 ・定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求める。 							
2 ・ 3 学期	第5章 不定積分 定積分 積分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・数学ⅠⅡⅢABCの問題演習 ・予習：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 ・授業：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 ・復習：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプリの動画やチャートを活用する。先生に質問する。 							
	11月頃から ・共通テスト対策問題演習								
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	⑦ 定期考査 ⑧ 小テスト	⑦ 定期考査 ⑧ 発表 ⑨ 討論への参加状況	⑦ 各種提出状況 ⑧ 定期考査 ⑨ 討論への参加状況						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・理	単位	1	教科	数学	科目	数学C
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「NEXT 数学C」数研出版 「CONNECT 数学C 完成ノート 新課程」数研出版 								
学習目標	<p>(1) ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	第1章 平面ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の補充問題・章末問題を中心に進める。 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 							
	第2章 空間ベクトル								
2 ・ 3 学 期	・数学ⅠⅡABCの問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 予習：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 授業：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 復習：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプリの動画やチャートを活用する。先生に質問する。 							
	11月頃から ・共通テスト対策問題演習								
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	⑦ 定期考査	⑦ 定期考査 ⑧ 発表 ⑨ 討論への参加状況	⑦ 各種提出状況 ⑧ 定期考査 ⑨ 討論への参加状況						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	3	教科	数学	科目	数学理解α
学習教材	・(購入する教材)								
学習目標	(1) 問題文を読みとり、筋道を立てて論理的に考え、基本公式を活用することができる。 (2) 複数の基本的な公式や考え方を、統合的に活用することができる。 (3) 条件を整理し体系的に考え、問題解決することができる。 (4) 身の回りの様々な分野を扱った問題に対し、数学との関連を探り、数学の基本公式や計算を問題解決に活用することができる。								
単元と学習内容									
1 学期	・数学ⅠAの問題演習			・ 予習 ：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 ・ 授業 ：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 ・ 復習 ：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプリの動画やチャートを活用する。先生に質問する。					
2 ・ 3 学期	・数学ⅠAの問題演習 11月頃から ・共通テスト対策問題演習			1学期と同じ ・問題文を読みとり、公式を用いて基本的な問題を解く。 ・他分野との融合問題にどう取り組み、学んだことをどのように活かせるかを学び、計算して問題を解決する。 ・ 復習(重要) 。疑問点を残さないよう、毎日(無理なら週末までに)見直しておく。問題傾向に慣れる。					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。				○	○	○	○
②	思考・判断・ 表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。				○	○	○	○
③	主体的に学習 に取り組む態 度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。					○		○
評価 方法	①			②			③		
	㊦ 定期考査			㊦ 定期考査 ㊧ 発表 ㊨ 討論への参加状況			㊦ 定期考査 ㊨ 討論への参加状況		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表										
学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	数学	科目	数学理解β	
学習教材	・(購入する教材)									
学習目標	(1) 問題文を読みとり、筋道を立てて論理的に考え、基本公式を活用することができる。 (2) 複数の基本的な公式や考え方を、統合的に活用することができる。 (3) 条件を整理し体系的に考え、問題解決することができる。 (4) 身の回りの様々な分野を扱った問題に対し、数学との関連を探り、数学の基本公式や計算を問題解決に活用することができる。									
単元と学習内容										
1 学期	・数学ⅡBCの問題演習			・ 予習 ：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 ・ 授業 ：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 ・ 復習 ：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプリの動画やチャートを活用する。先生に質問する。						
2 ・ 3 学期	・数学ⅡBCの問題演習 11月頃から ・共通テスト対策問題演習			1学期と同じ ・問題文を読みとり、公式を用いて基本的な問題を解く。 ・他分野との融合問題にどう取り組み、学んだことをどのように活かせるかを学び、計算して問題を解決する。 ・ 復習(重要) 。疑問点を残さないよう、毎日(無理なら週末までに)見直しておく。問題傾向に慣れる。						
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末	
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。				○	○	○	○	
②	思考・判断・ 表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。				○	○	○	○	
③	主体的に学習 に取り組む態度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。					○		○	
評価 方法	①			②			③			
	㊦ 定期考査			㊦ 定期考査 ㊧ 発表 ㊨ 討論への参加状況			㊦ 定期考査 ㊨ 討論への参加状況			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	3	教科	数学	科目	数学探究α
学習教材	・(購入する教材)								
学習目標	(1) 問題文を読みとり、筋道を立てて論理的に考え、基本公式を活用することができる。 (2) 複数の基本的な公式や考え方を、統合的に活用することができる。 (3) 条件を整理し体系的に考え、問題解決することができる。 (4) 身の回りの様々な分野を扱った問題に対し、数学との関連を探り、数学の基本公式や計算を問題解決に活用することができる。								
単元と学習内容									
1学期	・数学ⅠⅡABCの問題演習		・ 予習 ：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 ・ 授業 ：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 ・ 復習 ：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプリの動画やチャートを活用する。先生に質問する。						
2・3学期	・数学ⅠⅡABCの問題演習 11月頃から ・共通テスト対策問題演習		1学期と同じ ・問題文を読みとり、公式を用いて基本的な問題を解く。 ・他分野との融合問題にどう取り組み、学んだことをどのように活かせるかを学び、計算して問題を解決する。 ・ 復習(重要) 。疑問点を残さないよう、毎日(無理なら週末までに)見直しておく。問題傾向に慣れる。						
評価									
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・学年末			
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	○	○	○	○			
③	主体的に学習に取り組む態度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。		○		○			
評価方法	①		②			③			
	㊦ 定期考査		㊦ 定期考査 ㊧ 発表 ㊨ 討論への参加状況			㊦ 定期考査 ㊩ 討論への参加状況			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・理	単位	3	教科	数学	科目	数学探究β
学習教材	・(購入する教材)								
学習目標	(1) 問題文を読みとり、筋道を立てて論理的に考え、基本公式を活用することができる。 (2) 複数の基本的な公式や考え方を、統合的に活用することができる。 (3) 条件を整理し体系的に考え、問題解決することができる。 (4) 身の回りの様々な分野を扱った問題に対し、数学との関連を探り、数学の基本公式や計算を問題解決に活用することができる。								
単元と学習内容									
1 学 期	・数学ⅠⅡABCの問題演習			・ 予習 ：問題を解く(重要)。忘れていた公式や解法を調べる。 ・ 授業 ：解いた問題を他者に論理的に説明する。問題の読みとり方や基本的な考え方・解き方を学ぶ。また類題や発展的な問題を扱うことにより、より体系的に分野の理解を深める。 ・ 復習 ：授業で疑問に残った点を解決する。スタディーサプルの動画やチャートを活用する。先生に質問する。					
2 ・ 3 学 期	・数学ⅠⅡABCの問題演習 11月頃から ・共通テスト対策問題演習			1学期と同じ ・問題文を読みとり、公式を用いて基本的な問題を解く。 ・他分野との融合問題にどう取り組み、学んだことをどのように活かせるかを学び、計算して問題を解決する。 ・ 復習(重要) 。疑問点を残さないよう、毎日(無理なら週末までに)見直しておく。問題傾向に慣れる。					
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。				○	○	○	○
②	思考・判断・ 表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。				○	○	○	○
③	主体的に学習 に取り組む態度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。					○		○
評価 方法	①			②			③		
	㊦ 定期考査			㊦ 定期考査 ㊧ 発表 ㊨ 討論への参加状況			㊦ 定期考査 ㊨ 討論への参加状況		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	5	教科	理科	科目	物理
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 「物理」(数研出版) 問題集 「リードLightノート物理」(数研出版) 								
学習目標	(1) 物理現象にかかわる基本的な原理・原則について、定性的・定量的に理解できる。 (2) 観察、実験を通して予測・分析・考察といった科学的な能力を身につける。また、活動の中で自らの思考を伝えるための表現力を養う。 (3) 日常生活や自然の中に物理的な事物・現象を見だし、自ら探究する態度を身につける。								
単元と学習内容									
1 学 期	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	<ul style="list-style-type: none"> 気体の性質と法則 気体分子の運動 気体の状態変化と熱機関のしくみ 							
	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光	<ul style="list-style-type: none"> 波の発生の原理と基本事項、数式による波の表し方 波の伝わり方の基本原理、数式による理解 音の性質とドップラー効果の理解 光についての基本事項と光の進み方について レンズと鏡の性質 光の干渉と回折 							
2 ・ 3 学 期	第4編 電気と磁気 第1章 電場	<ul style="list-style-type: none"> 静電気力 電場と電位による電気現象の理解 コンデンサーのしくみと回路について 							
	第2章 電流	<ul style="list-style-type: none"> オームの法則の意味 さまざまな直流回路 半導体の基本的な性質と利用 							
	第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> 磁場による磁気現象の理解 電流のつくる磁場 ローレンツ力 電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生と交流回路、コンデンサーやコイルを含む交流回路 電磁波の発生のしくみや性質と種類 							
	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核	<ul style="list-style-type: none"> 粒子と波動の二重性 原子の内部構造について 放射線の種類とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子について 							
	総合演習問題	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試テストの過年度入試問題に取り組み、応用力を身につける。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象を定性的・定量的に理解している。 観察や実験に関する基本的な技術を身につけている。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を通して自然の中に規則性・法則性を見つることができる。 自然の事物・現象を感覚として捉えるだけでなく、その特徴を式やグラフなどを用いて表現したり、読み取ったりすることができる。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中に物理的な事物・現象を見いだそうとするなど、主体的に自然と関わろうとしている。 学習の過程を振り返り、自ら調整しようとしている。 		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨提出物	⑦定期考査 ⑧授業プリント ⑨実験レポート(予想・考察)	⑦ポートフォリオ ⑧実験レポート(自己評価) ⑨各種課題提出状況						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・理	単位	3	教科	理科	科目	化学
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「化学」実教出版 ・資料集「二訂版 ニューステージ化学図表」浜島書店 ・問題集「新インプレス化学ノート」浜島書店 								
学習目標	<p>(1) 化学的な事物・現象の観察、実験などを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するうえで必要な技能として利用できる。</p> <p>(2) 化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して検証や分析、解釈といった探究の方法を習得し、発表したり表現したりすることができる。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に対して主体的に関わる中で、設定した課題を解決しようとし、科学的に探究することができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	3章 無機物質 1節 周期表 2節 非金属元素 3節 金属元素	<ul style="list-style-type: none"> ・周期表における各元素の配置、性質を理解し、無機物質の性質と関連づけて理解する。 ・非金属元素の単体、化合物の製法、性質、反応性を理解し、性質を類推する。 ・金属元素の単体、化合物の製法、性質、反応性を理解し、性質を類推する。 ・金属イオンについてそれぞれのイオンの反応性を理解し、イオンを分離、確認する方法について身に付ける。 							
	4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の分類と特徴を理解し、適切に分類する。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、未知の化合物の構造を決定する。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの物質の関係性や構造異性体について理解する。 							
2・3 学期	3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解する。 ・芳香族化合物の性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解する。 							
	5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類と特徴について理解する。 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解する。 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解する。 ・合成高分子化合物を日常生活および化学工業に関連づけて理解する。 ・これまで学習した内容を基に、共通テストや大学入試テストの過年度入試問題に取り組み、応用力を身につける。 							
評価									
評価の観点	到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック							
		1期中	1期末	2期中	2期末・学年末				
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化について理解するとともに、化学的な解釈や説明ができる。 ・化学的な事物・現象に関する基礎的な知識及び概念や原理・法則を系統的に理解し、活用することができる。 	○	○	○	○				
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって化学的な事物・現象の観察、実験を行い、仮説の設定や結果の分析などの探究的な活動ができる。 ・化学的な事象・現象に関する課題に対して、習得した知識を基に考察し、自分の考えを表現できる。 	○	○	○	○				
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、その中から課題を設定し、科学的に探究できる。 		○		○				
評価方法	①	②	③						
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ④小テスト ⑤提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ④授業プリント ⑤実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦授業プリント ④実験レポート ⑤各種課題提出状況 						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・理	単位	5	教科	理科	科目	生物
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「高等学校 生物」啓林館 資料集「ニューステージ 生物図表」浜島書店 問題集「センサー総合生物」啓林館 								
学習目標	(1) 生命現象を理解するために、分子レベルの視点をもって学習することができる。 (2) 観察や実験を通して、生命現象を科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けるとともに、仮説を立てて検証をすることができる。 (3) 生物に主体的に関わり、日常生活や社会と生態系の関連を図りながら学習できる。								
単元と学習内容									
1 学期	4章 生物の系統 5章 生命と物質 6章 代謝	<ul style="list-style-type: none"> 生物はその系統に基づいて分類できることを理解する。 細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を学ぶ。 様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。 エネルギーの出入りと、ATP が果たす役割を理解する。 呼吸と光合成の反応の仕組みについて学ぶ。 							
	7章 遺伝現象と物質 8章 発生と遺伝子の発現 9章 バイオテクノロジー 10章 刺激の受容と反応 11章 動物の行動 12章 植物の環境応答 13章 個体群と生物群集 14章 生態系 総合演習問題	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子の発現が調節されていることおよびそのしくみを理解する。 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程 発生と遺伝子の発現 遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を学ぶ。 刺激に対する反応を理解する。 生物の生得的行動と学習について理解する。 植物の生殖と発生 発芽と成長 個体群とその変動、種内関係、種間関係 生態系と物質生産、生物多様性 大学入試の過年度入試問題に取り組み、応用力を身につける。 							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 単語を写真や図と関連させて理解している。 実験テキストに基づいて正しい実験操作ができている。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 生命現象について、学習した単語を用いて説明することができる。 実験結果について、学習した内容をもとに理由を説明できる。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通して自分が理解したことを説明することができる。 グループワーク時、積極的に議論に参加し、課題解決に主体的に取り組むことができる。 		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	㊦定期考査 ㊦副教材の取り組み ㊦提出物		㊦定期考査 ㊦授業プリント ㊦提出物、レポート		㊦各種提出物 ㊦活動への参加状況 ㊦提出物				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表										
学年	3	科・系	普通・英文	単位	4	教科	理科	科目	理科演習	
学習教材	(生物基礎) プリント 「新編センサー生物基礎四訂版 啓林館」(継続) 共テ対策問題集(2学期) (地学基礎) 「2026 新課程版 セミナー 地学基礎 第一学習社」 共テ対策問題集(2学期)									
学習目標	(1) 2年次に学習した生物基礎・地学基礎に関する知識を深め、発展的な内容を実証的・論理的に理解することができる。 (2) 生物的・地学的な事象を理解し、表やグラフから分析したり、現象を表現したりすることができる。 (3) 主体的に課題に取り組み、日常生活や社会と関連を図りながら学習できる。									
単元と学習内容										
1 学 期	問題演習・確認実験			<ul style="list-style-type: none"> 問題集や補助プリントによる基礎内容の復習 基礎内容に即した観察・実験 						
2 ・ 3 学 期	問題演習・確認実験 総合演習問題			<ul style="list-style-type: none"> 問題集や補助プリントによる発展的な内容の学習 探究活動を通じた課題解決 共通テスト受験に向けた実践的な問題演習 						
評 価										
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる) の規準]				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象を定性的・定量的に理解している。 観察や実験に関する基本的な技術を身につけている。 				○	○	○	○	
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を通して自然の中に規則性・法則性を見つけることができる。 自然の事物・現象を感覚として捉えるだけでなく、その特徴を式やグラフなどを用いて表現したり、読み取ったりすることができる。 				○	○	○	○	
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中に物理的な事物・現象を見いだそうとするなど、主体的に自然と関わろうとしている。 学習の過程を振り返り、自ら調整しようとしている。 					○		○	
評価 方法	①			②			③			
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨提出物			⑦定期考査 ⑧授業プリント ⑨各種レポート			⑦ポートフォリオ ⑧各種レポート ⑨各種課題提出状況			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通	単位	2	教科	保健体育	科目	体育
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 現代高等保健体育(大修館書店) ・資料集 図説現代高等保健(大修館書店) 		<ul style="list-style-type: none"> ・体育簿(富山県体育保健学会) 						
学習目標	<p>(1) 選択した運動種目の合理的、計画的な実践を通して、生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続する能力を養うことができる。また公正、協力、責任や健康・安全に留意する態度を身に付けることができる。</p> <p>(2) 自己の能力・適性・興味等に応じて運動を行うとともに、課題を発見し、それらの解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるコミュニケーション能力の伸長を図ることができる。</p> <p>(3) 個人の目標や課題が達成されるように練習を組み立て実行することができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	体づくり運動	自己や仲間の体力に関するねらいを設定して、それに必要な運動を考えて構成する。また体力の状態に応じて、運動の種類や回数などを工夫して計画し、実生活に役立てる。							
	選択球技① 以下の種目から選択 ・バスケットボール ・バレーボール ・ソフトボール	種目選択アンケート→種目選択→各自目標設定 グループ編成→試しのゲーム→グループ目標設定 グループ目標達成に向けた話し合い、役割分担の決定 各グループ学習計画の決定→学習計画に従った活動 活動結果の評価→学習計画の見直し 各自の目標の評価							
2 ・ 3 学期	体づくり運動	1学期と同じ							
	選択球技② 以下の種目から選択 ・バドミントン ・卓球 ・ソフトテニス 体育理論	選択制球技①と同じ 豊かなスポーツライフの設計について理解し、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断すると共に、他者に伝える能力や、学習に主体的に取り組む態度を身に付ける。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ・基本的な技能を身に付けている。 		○		○			
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えている。 		○		○			
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動に積極的に取り組もうとしている。 ・演技などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 		○		○			
評価方法	①		②		③				
	㊦学習カード ㊧観察 ㊨記録・実技テスト		㊦学習カード ㊧観察		㊦学習カード ㊧観察				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通文・英系	単位	1	教科	保健体育	科目	生涯スポーツ
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 現代高等保健体育(大修館書店) 体育簿(富山県体育保健学会) 資料集 図説現代高等保健(大修館書店) 								
学習目標	<p>(1) 生涯にわたって継続してスポーツに親しむ能力を養うとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。</p> <p>(2) 生涯にわたってスポーツを豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるコミュニケーション能力の伸長を図ることができる。</p> <p>(3) スポーツに主体的に取り組む態度や役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする能力を養うことができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	選択	フレッシュテニス	フレッシュテニスでは、基本技能を習得するとともに、相手に応じた作戦を立てて攻防を展開し、自主的にゲームを行うことができる。						
	選択	フットサル	フットサルでは、基本技能を習得し、空間を埋めるなどの動きによって攻防を展開し、自主的にゲームを行う。 【以下、各学期共通】 種目選択アンケート→種目選択→各自目標設定 グループ編成→試しのゲーム→グループ目標設定 グループ目標達成に向けた話し合い、役割分担の決定 各グループ学習計画の決定→学習計画に従った活動 活動結果の評価→学習計画の見直し 各自の目標の評価						
2・3 学期	選択	テーパーボール	テーパーボールでは、生涯スポーツとして広く行われているソフトボールの技能習得を目指しつつ、いつでも、どこでも、誰でも、楽しくプレーできることを目標にして、ベースボール型のスポーツのルールを理解を深めるとともに、個人・集団的技能を習得し、それらを駆使しながらゲームを展開する。						
	選択	ソフトバレーボール	1年次のバレーボールの授業で習得した技能を生かしつつ、バレーボールではできなかった3段攻撃などの、より高度な攻防を展開することを目指す。また生涯スポーツとして行われているスポーツに触れて技能の向上を目指すとともに、ゲームを通して、スポーツの楽しさや喜びを味わう。						
評価									
評価の観点		到達度目標「[B]」(おおむね満足できる)の基準	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツのルールや技の名称を理解している。また技能上達の過程を理解し、能力にあった目標設定をして、その目標達成に向けて練習を行うことができる。 基本的な技能を身に付けている。 		○		○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えている。 目標達成に向けた効果的な練習法を考えることができる。 		○		○			
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 各種運動に積極的に取り組もうとしている。 練習法などの話し合いに積極的に参加しようとしている。 準備や片付けに自主的に取り組んでいる。 		○		○			
評価 方法	①		②		③				
	⑦学習カード ①観察 ⑧記録・実技テスト		⑦学習カード ①観察		⑦学習カード ①観察				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	芸術	科目	音楽表現
学習教材	・教科書「Joy of Music」教育芸術社 ・「Music Note 基礎から学ぶ高校音楽」,「高校生の歌集 つどい」啓隆社								
学習目標	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに, 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら, 個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み, 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに, 感性を磨き, 音楽文化を尊重し, 音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。								
単元と内容									
1 学期	表現のための技能を高めよう	・発声練習やソルフェージュを通して歌唱の基礎能力を高めるとともに, 旋律を聴き取る能力, 読譜の能力などを養い, 楽曲を豊かに表現する力を養う							
	弾き歌いに挑戦 鑑賞力を伸ばそう	・コードネームの理解とピアノによる弾き歌い ・子どもの歌の表現内容を総合的に理解し, 表現意図をもって創造的に弾き歌いをする ・音楽の構造上の特徴と美しさのかかわりや, その音楽を生み出した文化的・歴史的背景を理解して鑑賞するとともに, 批評活動を通して主体的に鑑賞活動を行う							
2・3 学期	劇音楽に親しもう	・音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞するとともに, その中で歌われる楽曲の表現内容を総合的に理解し, 表現意図をもって創造的に歌う							
	表現上の効果を生かして演奏しよう	・様々な表現形態による楽曲の特徴を理解し, 表現上の効果を生かして演奏する							
	コンサートを開こう 名曲プレゼンテーション	・様々な表現形態による歌唱や器楽の中から, 個人またはグループで楽曲を選択し, 表現意図をもって創造的に演奏発表する ・各自で設定したテーマにそって研究し, レポートを作成する							
評価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の規準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末 学年末			
①	知識・技能	・音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに, 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら, 個性豊かに音楽表現を創意工夫したり, 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。		○		○			
③	主体的に学習に取り組む態度	・音楽文化を尊重し, 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組んでいる。	○		○	○			
評価方法	①		②		③				
	㊦実技・筆記試験 ㊧レポート ㊨学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊩ノート		㊦実技・筆記試験 ㊧レポート ㊨学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊩ノート		㊦レポート・作品提出 ㊧学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊨ノート				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	芸術	科目	音楽探究
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「Joy of Music」教育芸術社 ・「Music Note 基礎から学ぶ高校音楽」, 「高校生の歌集 つどい」啓隆社 								
学習目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに, 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら, 個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み, 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに, 感性を磨き, 音楽文化を尊重し, 音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>								
単元と内容									
1 学期	声と音楽	<p>歌唱・・・斉唱・重唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声法, 豊かな表現力を身につける ・歌詞の内容を理解しながら歌唱表現を工夫する <p>鑑賞・・・劇音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇と音楽のつながり, 音楽がもたらす効果について理解する <p>楽典・・・総合問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典の基礎知識を確実なものへと定着させる <p>ソルフェージュ・・・コンコーネ, 聴音, ボディーパーカッション, 初見視唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初見で歌うことにより, 読譜力を養う ・ボディーパーカッションを通してリズム感を養う <p>器楽・・・鍵盤楽器実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の経験に応じた鍵盤楽器の課題に取り組み, 曲を仕上げる 							
2・3 学期	アンサンブルへの取り組み	<p>歌唱・・・ボイスアンサンブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイスアンサンブルを楽しみ, 純正調でのハモリを体感する <p>器楽・・・器楽アンサンブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器の特性を生かし, 創造的な器楽アンサンブルに取り組み <p>楽典・・・総合問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典の基礎知識をより確実なものにし, 実践的な活動につなげる <p>ソルフェージュ・・・コンコーネ, 聴音, 初見視唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴音を通して正確な音程感, リズム感を養う 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末 学年末			
①	知識・技能	・音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに, 創創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら, 個性豊かに音楽表現を創意工夫したり, 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。		○		○			
③	主体的に学習に取り組む態度	・音楽文化を尊重し, 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組んでいる。	○		○	○			
評価方法	①		②		③				
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦実技・筆記試験 ㊧レポート ㊨学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊩ノート 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦実技・筆記試験 ㊧レポート ㊨学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊩ノート 		<ul style="list-style-type: none"> ㊰レポート・作品提出 ㊱学習の取り組み状況(観察, 聴取) ㊲ノート 				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	芸術	科目	美術表現
学習教材	自作プリントなど								
学習目標	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。</p> <p>(2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。</p>								
単元と内容									
1学期	「アートカードで作品鑑賞」 「つながる手」 「色彩の基礎」 「自分を励ます言葉」 「卵から見える色」 「美を描く」	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだカードの作品に題名をつけるなどいろんな作品に親しむ。 ・色鉛筆を使い気軽に作品制作に取り組む。 ・三原色やトーン、配色の基礎を学ぶ。 ・言葉のイメージを色彩やフォントで表現し、マグネットなどを作成する。 ・色鉛筆の使い方を工夫し、感じたことを表現する。 ・美しいと感じたモチーフを見つけ、よく観て、感じたことを大切に描く。 							
2学期・3学期	「デザイナーの仕事」 「思いやりのカタチ」 「プレゼンボード制作」 「廃材アート」	<ul style="list-style-type: none"> ・一流デザイナーの考えや仕事を知り、デザインとは何かを学ぶ。 ・大切な人のために、使い勝手や好みなどに配慮した物のアイデアを考え、粘土で制作する。 ・目的に応じて工夫し、タブレットでプレゼンボードを制作する。 ・段ボールなどで自由に立体作品を作る。 							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕					評価のフィードバック		
							1期末	2期末・学年末	
①	知識技能	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩や構図や配色などの造形要素や、それらを基に全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 					○	○	
②	思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現では、感じ取ったことや考えたこと等から、主題を生成し、主題に応じて表現を考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 ・デザイン表現では目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。 ・作品や美術文化などの鑑賞では、造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 ・デザイン鑑賞では、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 					○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現の創造活動や、作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に、試行錯誤や工夫を繰り返して、時間の限り粘り強く取り組もうとしている。 					○	○	
評価方法	①		②			③			
	㊦観察 ㊧ワークシート ㊨作品 ㊩作品コメント用紙 ㊪振り返り用紙		㊦観察 ㊧ワークシート ㊨作品 ㊩作品コメント用紙 ㊪振り返り用紙			㊦観察 ㊧ワークシート ㊨作品 ㊩作品コメント用紙 ㊪振り返り用紙			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	芸術	科目	美術探究
学習教材	自作プリントなど								
学習目標	<p>主体的に取り組み、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだして、自分で課題を立て、情報を集め、分析して、表現することができる。</p> <p>デッサンにおいては、表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けることができる。また、対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等身に付けることができる。</p>								
単元と内容									
1学期	「美術史年表」 「色彩の基礎」 「鉛筆デッサンの基礎」			<ul style="list-style-type: none"> 好きな作品を鑑賞し、模写し、作者や時代背景などを調べる。 三原色やトーン、配色の基礎を学ぶ。 形体や立体感や質感に着目し、直方体や円柱、球の物体を描く。 					
2学期・3学期	A、B、C、Dの中から1つを選択する A「鉛筆デッサン」 B「静物着彩」 C「絵画表現」 D「構成(平面・立体)」			<ul style="list-style-type: none"> 形体や立体感や質感、空間を意識し、自己の考えた主題に基づいて、自分の描きたいモチーフを描く。 モチーフに興味を持って観察し、特徴を把握した上で感じ取ったことを表現するために、構成、色彩等を工夫して表現する。 幅広い表現技法、材料、用具のもつ特性について理解し、自らの主題に応じた表現技法で表現する。 携帯や色彩、材料などの効果的な使い方を考え、構成の美しさなどを考えながら平面や立体に表す。 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕					評価のフィードバック		
							1期末	2期末・学年末	
①	知識技能	<ul style="list-style-type: none"> 発想や構想したことを基に創造的に表すことができる。 表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 					○	○	
②	思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> 絵画表現では、感じ取ったことや考えたこと等から、主題を生成し、主題に応じて表現を考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 作品や美術文化などの鑑賞では、造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 デザイン鑑賞では、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 					○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 表現の創造活動や、作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に、試行錯誤や工夫を繰り返して、時間の限り粘り強く取り組もうとしている。 					○	○	
評価方法	①			②			③		
	⑦観察 ⑧ワークシート ⑨作品 ⑩作品コメント用紙 ⑪振り返り用紙			⑦観察 ⑧ワークシート ⑨作品 ⑩作品コメント用紙 ⑪振り返り用紙			⑦観察 ⑧ワークシート ⑨作品 ⑩作品コメント用紙 ⑪振り返り用紙		

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通科	単位	4	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ
学習教材	教科書「BIG DIPPER English Communication Ⅲ」数研出版 「ワークブックⅢ」数研出版								
学習目標	<p>日常的・社会的な話題について、</p> <p>(1) 事物に関する紹介や説明、対話や討論、評論、物語などを聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要をとらえることができる。</p> <p>(2) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。</p> <p>(3) 学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	【Part 1】	L1 Is the Meat Real or Fake? L2 Let's Have a Healthy Workout L3 My Opinion of Zoos L4 The History of Ekiben L5 Three Tips for Maintaining a Conversation L6 The History of Recorded Music L7 Online Word-of-Mouth	食糧難や環境問題から注目されている代替肉 筋肉の働きと重要性について 「動物園の是非」に関する賛成・反対それぞれの主張 日本独自の食文化―旅情を演出する駅弁の歴史 会話を続ける3つのコツとは レコードからサブスクまで、変わってゆく音楽の楽しみ方 レストランの口コミ情報サイトから、必要な情報を読み取る						
	【Part 2】	L15 Instant Replay in Sports L16 Endangered Languages L17 Is This the Right Way to Protect the Environment? L18 The Shoe That Grows L19 Fake News L20 Human Society and Infectious Diseases	スポーツの判定に用いられる新しいテクノロジーについて 消滅の危機に瀕している世界の言語について 「環境によい」と思われている行動を改めて見直す ケニアの貧しい子どもたちのために開発された「成長する靴」 「フェイクニュース」、誤った情報を見分ける方法は? 太古の昔から人類の発展とともに広まってきた感染症						
2 ・ 3 学 期	【Part 1】	L8 After the Flowers L9 Hot Springs at Home and Abroad L10 Kintsugi L11 Art on Display L12 Can You Manage Your Anger? L13 Crowdfunding L14 A New Orchestra and a New Harmony	植物が行う生存戦略、タンポポ、スマイレなどの例を紹介 温泉を楽しむのは日本人だけではない?世界の温泉事情 日本の「もったいない」精神を体現した伝統的技術「金継ぎ」 博物館の案内文から必要な情報を読み取る 負の感情「怒り」をうまくコントロールする方法 資金を得る新しい方法「クラウドファンディング」 ゴミからつくった楽器で演奏する、パラグアイのオーケストラ						
	【Part 3】	L21 Having a Discussion L22 Writing a Summary [1] L23 Question-and-Answer Session L24 Writing a Summary [2]	顔認識システムで変わる現代の生活や社会 元黒人奴隷にして奴隷解放運動家ハリエット・タブマンの生涯 海外から日本に来た人たちに「地震災害」についてプレゼンする 人は科学の力でどれだけ長く生きることができるのか						
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。 これまでに学んだ語彙や文法を活用して、概要や要点を理解する技能を身に付けている。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。 英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習 に取り組む態 度	<ul style="list-style-type: none"> お互いに協力しながら1分以上やりとりを継続している。 目安として提示された分量の英文を書いている。 ほとんどメモに頼らず発表しようとしている。 相手に協力的な態度で接している。 		○		○			
評 価 方 法	①		②		③				
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨ワーク点検	⑦定期考査 ⑧課題内容 ⑨パフォーマンステスト	⑦パフォーマンステスト ⑧課題の取組状況 ⑨ペアワークなどの参加状況						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	普通科	単位	2	教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ
学習教材	・教科書「APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ」開隆堂 「Workbook」開隆堂								
学習目標	<p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開、事前の準備などにおいて、</p> <p>(1) 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場が異なる相手と交渉したりすることができる。</p> <p>(2) 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。</p> <p>(3) 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p>								
単元と内容									
1 学 期	Lesson 1 What Are You Going to Do during the Golden Week Holidays? Lesson 2 What Do You Want to Do in the Future? Lesson 3 Suggest a New Style of Traveling Lesson 4 Communicating Your Requests	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールデンウィークの計画について発表する。 ・ 将来就きたい職業とその理由や重視するポイントについて発表する。 ・ エコツーリズムについて、その必要性や具体的方法などについて発表する。 ・ プレゼンテーション大会に関する要望などを伝えるためのEメールを作成する。 							
	Lesson 5 Thank You for Your Support Lesson 6 How to Complain Politely Lesson 7 My Specialty Lesson 8 My Special People and Places Lesson 9 Paragraph Writing Lesson 10 Presentation Lesson 11 Discussion Lesson 12 Debate	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝や祝福などの気持ちを、手紙で伝える。 ・ 自分が置かれている状況や要望を相手に伝える。 ・ 自分が得意な料理のレシピを発表する。 ・ 行きたい国について、理由を挙げながら発表する。 ・ トピックについて、自分の考えを整理し、順序立ててパラグラフを書く。 ・ トピックについて、自分の考えを整理し、プレゼンテーションソフトを活用してプレゼンテーションする。 ・ トピックについて、グループでのディスカッションに参加する。 ・ 論題について、賛成・反対の立場からチームでディベートに参加する。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の構造や文法事項を理解することができる。 ・ 情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。 	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 	○	○	○	○			
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の話す内容や質問に対して、適切な相槌をうちながら、きちんと耳を傾けている。 ・ 自分の考えを積極的に伝えようとしている。 		○		○			
評価方法	①		②		③				
	㊦ 定期考査 ㊧ 小テスト ㊨ 提出物	㊦ 定期考査 ㊧ 授業プリント ㊨ パフォーマンステスト	㊦ 授業での発表 ㊧ 相互評価 ㊨ 提出物 ㊩ ペアワークなどの参加状況						

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・英文	単位	2	教科	家庭	科目	家族と保育・福祉
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・実習プリント 								
学習目標	<p>(1) 家族と保育・福祉において科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けることができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 自身の興味・関心や進路に沿った課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養うことができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p>								
単元と学習内容									
1 学期	<p><保育分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の出産、育児 ・子どもとふれあう ・伝承遊び ・子どもの発達 ・児童福祉 <p><課題研究></p>			<ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生から育児に関わる諸問題について理解を深める。 ・子どもの発達と遊びについて理解し、伝承遊びについて考え、伝承折り紙の折り方を身に付ける。 ・保育園訪問をし、子どもたちとふれあい、子どもの発達を観察する。 ・今日の児童福祉の現状と諸問題について理解を深めて、家庭と地域での子育てについて考える。 ・自身の興味や関心、進路に沿った課題を見出し、夏季休業を利用して実践的な探究を行う。 					
2・3 学期	<p><課題研究のまとめ></p> <p><福祉分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の課題と福祉 ・障害者福祉 ・介護技術 <p><製作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 ・被服実習 			<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出、模造紙にまとめて発表する。 ・高齢者の生活における諸問題と地域福祉について学ぶとともに、障害者福祉も含めた、地域における福祉の在り方を考える。 ・シーツ交換や体位変換、車椅子や三角巾法等の実習を通して、ボディメカニクスなど介護理論を学ぶ。 ・高齢者や幼児に対応した料理や菓子を製作する。 ・刺繍や編み物などでおもちゃを製作する。 					
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末
①	知識・技能	家族と保育・福祉について、科学的な理解を図るとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている。					○		○
②	思考・判断・表現	興味・関心のある課題を自ら設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する等、課題を解決する力を身に付けている。					○		○
③	主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。					○		○
評価方法	①		②		③				
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦実技テスト ㊦実習 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦実習プリント ㊦課題研究レポート・発表 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦課題研究レポート・発表 ㊦実習プリント ㊦実習 ㊦振り返りシート 				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通	単位	1	教科	情報	科目	情報探究	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集「情報Ⅰ 徹底演習」(改訂版)数研出版 ・購入する共通テスト対策の教材 									
学習目標	<p>(1) 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得し、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めることができる。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用できる。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与することができる。</p>									
単元と学習内容										
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とメディア ・情報社会における法とセキュリティ ・情報技術が社会に及ぼす影響 ・デジタル情報と数の表現 ・情報のデジタル表現 ・情報デザイン 			<ul style="list-style-type: none"> ・情報の特性を学習し、情報社会の現状を通して情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 ・メディアの種類と特性を学習し、目的に応じた選択を判断する。 ・社会で利用されている情報技術について学習し、課題解決の方法を考える。 ・アナログとデジタルの違いの学習を通して、二進数と情報量の関係を理解する。 ・計算問題及び図表を使った問題を解き理解する。 						
2 ・ 3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのしくみ ・プログラミング ・モデル化とシミュレーション ・ネットワークのしくみ ・データベース ・データの分析 			<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語の種類と特徴を学習し、変数や関数を用いてプログラミングを理解する。 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 ・シミュレーションを活用した問題解決方法を理解する。 ・情報通信ネットワークの構成・仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。 ・会話形式の問題など読解力を要する問題を解き理解する。 ・模試問題等の演習で大学入学共通テスト問題の傾向に慣れる。 ・予想問題で知識をもとにした読解力や判断力を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・パターン別演習③④ ・実践演習 ・共通テスト対策演習 			
評価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解できる。 					○		○	
②	思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。 					○		○	
③	主体的に学習 に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善することができる。 					○		○	
評価 方法	①			②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①教材の取り組み 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①教材の取り組み 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦各種提出物 ①活動への参加状況 ⑦課題の取り組み状況及び成果物 			

令和8年(2026年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	普通・文	単位	2	教科	英語	科目	上級英語理解
学習教材	SKYWARD OCEAN Course 3rd Edition 最新入試英語長文20選(桐原書店)								
学習目標	(1) 多様なテーマ・論理構造・文体を持つ20編の長文を読み、文章の概要を捉えることができる。 (2) 読み方のコツや構文のポイントを押さえ、本文を要約したり、各設問に正しく答えたりすることができる。								
単元と内容									
1 学期	Unit1 旅行	・関係詞の2用法							
	Unit2 気候変動	・動詞の過去形と過去分詞の識別							
	Unit3 資料の読み取り	・with構文							
	Unit4 人口問題	・英文解釈の基本はV(述語動詞)の発見							
	Unit5 人体	・<S is C.>が複雑化した文							
	Unit6 宇宙	・指示語(句)が指し示すものをとらえる							
	Unit7 言語	・名詞(句)の他の品詞への転用							
	Unit8 AI	・並列関係のとらえ方							
2 ・ 3 学期	Unit9 生物学	・説明文中で使われる分詞構文の表す意味							
	Unit10 歴史	・さまざまな同格表現							
	Unit11 健康	・同格のthat節を後ろに置く名詞							
	Unit12 工業	・パラグラフ・リーディング							
	Unit13 コミュニケーション	・ディスコース・マーカーに着目する							
	Unit14 脱炭素社会	・無生物主語							
	Unit15 日常生活	・人称代名詞が指すものにとらえ方							
	Unit16 環境緑化	・前の名詞に補足説明を加える分詞句・形容詞句							
	Unit17 会話	・itのさまざまな使い方							
	Unit18 ノンフィクション	・描出話法							
	Unit19 情報社会	・接続詞thatと関係代名詞thatの見分け方							
	Unit20 社会生活	・not only A but also Bのバリエーション							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末・ 学年末			
①	知識・技能	・目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。 ・これまでに学んだ語彙や文法を活用して、概要や要点を理解する技能を身に付けている。	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	・英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 ・既習の語彙・文法・文構造を使いながら、与えられた課題について英文を作ることができる。	○	○	○	○			
③	主体的に学習に取り組む態度	・目安として提示された分量の英文を書いている。 ・ほとんどメモに頼らず発表しようとしている。		○		○			
評価方法	①		②		③				
	㊦ 定期考査 ㊧ 小テスト ㊨ 提出物		㊦ 定期考査 ㊧ 授業プリント ㊨ パフォーマンステスト		㊦ 授業での発表 ㊧ 相互評価 ㊨ 提出物 ㊩ ペアワークなどの参加状況				

令和8年(2026年)度 年間授業計画表										
学年	3	科・系	普通・英	単位	2	教科	英語	科目	上級時事英語	
学習教材	CNN Workbook Extended Course (朝日出版) 英語で読んで考える時事×SDGs Cross Bridge (文英堂)									
学習目標	(1) 英文ニュースを読んだり聞いたりして、国際ニュース・国内の時事・SDGsに関する問題に対する理解と英文読解力を高める。 (2) ニュースに対する自分の意見や考えを英語で発信することができる。									
単元と内容										
1 学期	「Cross Bridge」 Unit1 資源・環境 Unit2 共生 Unit3 飢餓・食料問題 Unit4 医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・国連、プラスチック汚染根絶に条約制定へ ・容器の再利用事業 日本で開始 ・日本の女性がハイヒール反対運動を支持 ・障がい者の障壁除去、民間部門も義務化へ ・増加する深刻な食料不足に直面する人々 ・日本、食ロス削減の課題に取り組む ・コロナのパンデミックで5歳未満の死亡削減の成果が帳消しの可能性 ・アジアの蚊がアフリカの都市に脅威を与えている 								
	「CNN」 News1 News2 News3 News4 News5 News6 News7	<ul style="list-style-type: none"> ・初代ミッキーがパブリックドメインに仲間入り! ・最近の米エリート大学生は本を読むのが苦手? ・仏で進む「使い捨てプラ包装」全廃止への動き ・迷い猫、合計1600kmを旅して奇跡の帰還 ・NY州、全米初のSNSアルゴリズム規制法が成立 ・予算超過のオリンピック、経済効果に疑問符 ・スペイン語スクラブル選手権、驚きの優勝者 								
2 ・ 3 学期	「Cross Bridge」 Unit5 教育 Unit6 衛生環境 Unit7 産業・技術 Unit8 雇用・経済成長 Unit9 国際関係 Unit10 気候変動	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の最貧困層の子どもたち、十分な教育を受けられず ・スーパーマーケット事業者、アフガニスタンに学童カバンを送る ・気候変動はトイレのない人々に脅威を与えている ・水設備の欠如で人々のコロナ感染リスク高まる ・鹿児島県瀬戸内町 ドローン配達の実証実験を開始 ・スーパーコンピューター「富岳」、増える利用目的 ・経済学者：男女格差の解消が世界の経済成長を押し上げる ・新型コロナが農業・食品セクターに打撃 ・バングラディッシュの縫製業の労働者が賃金不払いに抗議 ・JICAが外国人労働者の支援に本腰 ・研究：昆虫の数が世界的に激減 ・ベネチアで記録的な高潮被害 								
	「CNN」 News8 News9 News10 News11 News12 News13 News14 News15 News16 News17 News18 News19 News20	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアのポンペイ遺跡、観光客数を制限へ ・キリンを絶滅危惧種に 米当局が連邦保護を提案 ・恐竜滅ぼした隕石、正体は超巨大“泥団子”!? ・世界初! 木造人工衛星が宇宙へ高速通信提供へ ・オランウータンが薬草で自己治療 ・「世界水の日」安全な水へのアクセスが課題 ・BRICS 経済圏に新たに5カ国が加盟 ・世界最大の炭素回収施設、アイスランドで始動 ・イーロン・マスク氏の会社が脳インプラントに成功 ・ガンジス川、2500年前に地震で流路が変化 ・作物種子保全の貢献者が「世界食糧賞」受賞 ・袴田巖さん、58年を経て無罪確定 ・広がる格差 10年後には「兆万長者」誕生か 								
評価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準]	評価のフィードバック							
			1期中	1期末	2期中	2期末・学年末				
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・文の構造や内容を理解することができる。 ・情報や考え、気持ちなどを適切に伝えることができる技能を身に付けている。 	○	○	○	○				
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の概要や要点を捉えることができる。 ・論理性に注意して、自分の意見を書いたり話したりして伝えることができる。 	○	○	○	○				
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースの概要や要点を捉えようとしている。 ・クラスメイトにわかるように、ニュースについての情報や考え、気持ちなどを伝えようとしている。 		○		○				
評価方法	①		②		③					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査 ○ 授業プリント ○ パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業での発表 ○ 相互評価 ○ 提出物 ○ ペアワークなどの参加状況 							